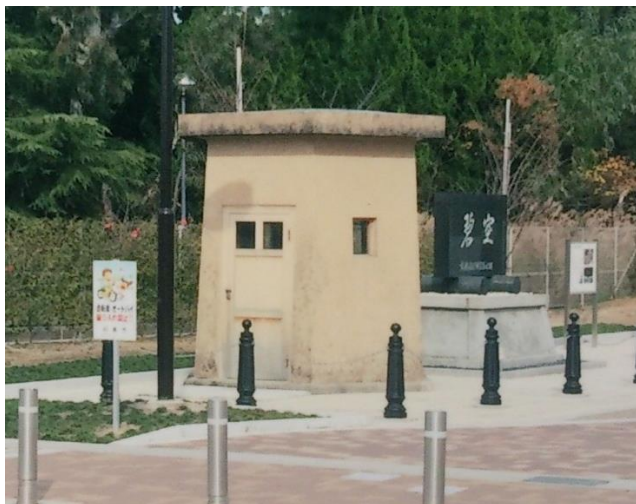


NO24

鈴鹿海軍航空隊跡

所在地は鈴鹿市南玉垣町（現在NTT研修センター正門）（近鉄白子駅より徒歩30分）

※現在は桜の森公園・鈴鹿医療科学大学白子キャンパス内にあります。



1938年、偵察飛行兵を養成する練習航空隊として鈴鹿海軍航空隊がこの地に開隊しました。17歳と22歳前後の若者がこの航空隊で約半年間の飛行訓練を受け、各実践航空隊に配属され、アジア・太平洋戦争へとかり出されていきました。戦争末期にはこの航空隊は閉鎖され、「第一鈴鹿海軍航空基地」として改編され、同時に練習機「白菊」を特攻機とする「若菊隊」が結成され、日々、特攻訓練がおこなわれ、沖縄戦の特攻隊員として出撃した人も少なくありません。

戦後は鈴鹿電気通信学園の校舎となり、兵舎や格納庫などほとんどの建物が残されていきました。戦争映画や映画「埋もれ木」のロケ地にも使用されました。しかし80年代より次々と建物は建て替えられ、全国的にも貴重な3棟の格納庫も2011年に取り壊されてしまいました。現在は移築された正門と番兵塔、モニュメントなどが桜の森公園内に「戦争遺産」として残されています。

20060425 掲載

(※2016.4時点で、写真の差し替えと修文をしてあります)